

第45回運営推進会議

新型コロナウイルス感染拡大防止の為
会議は休止しております。
資料のみの提出とさせていただきます



グループホームつながり

登録数18名

男性 4名

女性 14名

	5月	
	前回推進会議時	現在状況
要支援 2	0	0
要介護 1	6	6
要介護 2	4	4
要介護 3	1	1
要介護 4	7	7
要介護 5	0	0
申請中	0	0
合計	18	18

平均介護度
2.5

日々の活動

4月・5月は・・・

バイタル測定

散歩

病院往診・受診

創作活動

洗濯物干し

訪問歯科

入浴

洗濯物たたみ

機能訓練指導

ラジオ体操

調理補助

新型コロナウイルス
ワクチン接種

口腔体操

居室・フロア清掃

カラオケ

4月の職員研修

感染症について

1. 感染症とは

私たちの身の回りには見えませんが、あらゆるところに様々な微生物が住んでいます。

そしてその全てが子孫を残そうとしており、増殖しようとしています。

増殖が食べ物の中で行われると食中毒や腐敗の原因になりますが、人や動物の中で増殖した場合、それらが疾病を引き起こすことがあります。

これが感染症です。

2. 病原微生物

・細菌

黄色ブドウ菌（皮膚の傷＝膿）

大腸菌（膀胱炎・腎盂炎）

肺炎球菌（肺炎）

クレブシエラ菌（胆のう炎）

* 周囲から養分を取り込んで自分で増殖し仲間を増やす。

・ウイルス

感冒・水痘・麻疹・風疹・肝炎・インフルエンザ・新型コロナ

- * 殻の中に遺伝子が入った形をしていて、人間の細胞に自分の遺伝子を送り込んで仲間を増やす。細菌よりずっと小さい。

・常在菌

菌は人の身体(皮膚・頭髮・鼻の中・口の中・咽・胃腸などの胃腸管)に定着しているが、特に感染症もおこさず共存状態にある。この一連のグループを常在菌という。

～常在菌の代表～

表皮ブドウ球菌 黄色ブドウ球菌 連鎖球菌 腸球菌

- * 身体の中は常在菌だらけだが、消化・吸収に役立ったり、外から入った菌の増殖を抑える働きをする。

3. 感染の成立

- ・一定数以上の菌・ウイルスが侵入しないと感染は成立しない。
- ・B型・C型肝炎は唾液や汗にも含まれているが、血液中のウイルスの量の1/1000～1/10000程度であり、その程度であれば感染は起らない。
- ・身体の免疫力・抵抗力が正常であれば、身体についた菌の90～95%は4時間で殺菌される。
- ・免疫力を上回る量の菌が入ると感染が成立する。

4. 接触を中心にうつるもの（接触感染）

- ・接触による感染経路の主役は手である。
MRSA・感染性胃腸炎
排便後の手洗いを徹底する。

5. 空中を浮遊してうつるもの

A.飛沫感染(くしゃみ・咳)

インフルエンザ・新型コロナ・風疹・流行性耳下腺炎など

B.空気感染

結核・麻疹・水痘など

6. 血液を介してうつるもの

ウイルス性肝炎・エイズなど

7. 気になる下痢・腹痛・嘔吐などの場合

経口感染

O157・感染性胃腸炎など

8. その他の病原微生物

スピロヘータ:梅毒

真菌(カビ):白癬菌(水虫)

ダニ:疥癬

その他:寄生虫・クラミジア・原虫

＊体調不良時は無理をせず出勤前に管理者に報告し指示を仰ぐ事。施設に持ち込まない事が重要！

気づき・アクシデント

4月・5月

・ アクシデント 3件

内容:M・K 様 4月14日(水) PM2:00

フロアー内を歩かれていたK様がソファーに腰掛けようとし、座りそこねてずれ落ちてしまう。

BP 143/90 P 66 外傷なく、ソファーにて休んでいただき様子観察する。

・ 気づき 18件

内容:M・K 様 4月10日(土) AM5:30

起床後洗面所へ向かい、歯ブラシをもってトイレに入ろうとされる。

内容:K・I 様 5月5(水) PM6:35

フロアーの自席よりシルバーカーを使わずに居室へ向かわれる。

(シルバーカー使用者)



5月



グループホーム つながり
☎055-970-2938